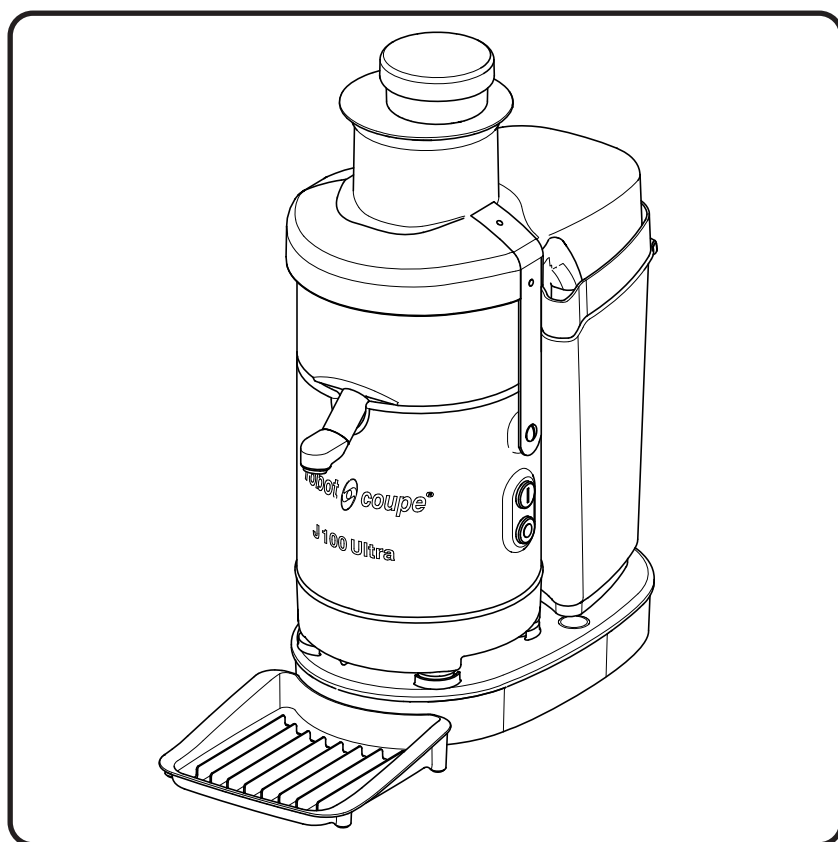


ロボクーブ ジューサー
J-100 (業務用)

robot coupe®

取扱説明書



- このたびは、当社のロボクーブ ジューサー（J-100）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目 次



安全上のご注意	1～6
仕様	7
各部の名称	8
据付けについて	9
操作手順	10～16
お手入れ	17～21
故障の診断と手当	22・23
商品保証書	25

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告

- 据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

- アース工事を必ずおこなうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
(電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)



アース工事

- 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。



電気工事

- 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

- 湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

- 本体に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止

- 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

⚠ 警告

- 電源プラグやプラグアダプターは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検清掃

- 漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF（切）』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。



連絡

- 機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

感電する恐れがあります。



接触禁止

- 濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

- 異常時は停止スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜くか、本機専用電源を『OFF（切）』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること
異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。



専用電源切

- お使いのガス器具がある場合、ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

電源プラグを抜いたりしますと、引火爆発し危険です。



ガス栓閉

- 食材の落とし込みは手でおこなわないこと

ケガをする恐れがあります。



禁止

- フィルターバスケットの刃の部分には直接触れないこと

ケガの原因になります。



接触禁止

⚠ 警告

- 本体より取り外したフィルターバスケットは、安全な場所に置くこと

誤って刃の部分に触れた場合、ケガの原因になります。



- 運転中は、投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガおよび故障の原因になります。



- フィルターバスケットの回転が完全に止まるまでは、ロックレバーを解除し、ボウルカバーを開けないこと

ケガおよび故障の原因になります。



- 修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



- 改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、液漏れや感電、火災の原因になります。



- 移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付け不備があると感電、火災の原因になります。



- 廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。



⚠ 注意

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になります。



水平据付

- 本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



禁止

- 電源プラグは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。



禁止

- 熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

発火の原因になります。



可燃物禁止

- 果汁（ジュース）を受ける容器、受け皿、果肉容器または果肉排出チューブが正しくセットされているか確認してから運転すること
果汁（ジュース）や果肉が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた果汁（ジュース）で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



確認

- 停止スイッチを押して機械を止めた後、モーターの回転が完全に停止してから（10秒以上）、果汁（ジュース）の容器や果肉容器を本体から取り外すこと
モーターの回転中に果汁（ジュース）の容器や果肉容器を取り外すと、果汁（ジュース）、果肉が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた果汁（ジュース）で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



停止確認

- お手入れのときや点検のときは、必ず停止スイッチを押して機械を止め、電源プラグも抜くこと

誤って操作スイッチに触れた場合、ケガをしたり、ショートや感電の原因になります。



プラグを抜く

⚠ 注意

- 使用後、フィルターバスケット、ジュース収集ボウル、ボウルカバー、ガイド、果肉容器は、洗剤を使って洗浄すること
洗浄が不行き届きの場合、付着した食材や果汁（ジュース）が腐敗したり雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



洗浄

- 洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと
洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



洗い流す

- 本機を洗浄または清掃したあとは、アルコール除菌剤を使って除菌すること
除菌が不十分な場合、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



除菌

- 一週間以上ご使用にならない場合は、機械が完全に停止していることを確認し、電源プラグを抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



プラグを抜く

- 漏電遮断器は月に1回動作確認すること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



動作点検

- このお使いになっている商品を転売したり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

仕様

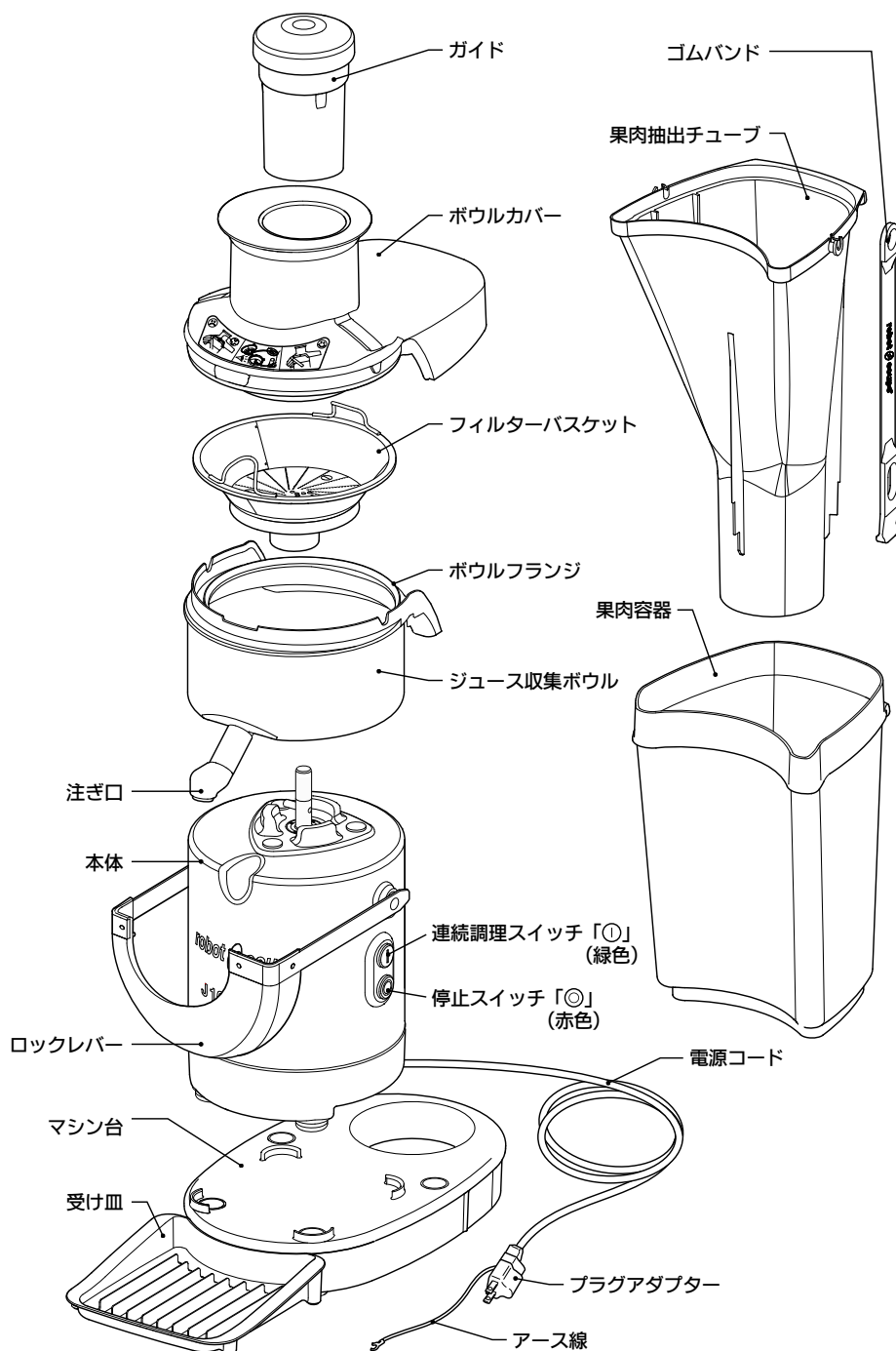
品 名	ロボクーブ ジューサー	
型 式	J-100	
外 形 寸 法	幅 515・奥行 230・高さ 600mm	
電 源	100 V 50 / 60Hz	
電 流	13.5 A (15 分定格)	
消 費 電 力	1.0 kW	
安 全 装 置	蓋安全装置、モーター保護装置、リセットスイッチ	
回 転 数	3,000rpm (50Hz) / 3,600rpm (60Hz) 無負荷時	
材 質	本 体	ステンレス、プラスチック
	ボ ウ ル	ABS樹脂
	カ バ ー	
	ガ イ ド	ポリプロピレン
	フィルターバスケット	ステンレス、ポリアミド、グラスファイバー
	果 肉 容 器	ポリプロピレン
	果肉排出チューブ	ポリプロピレン
果肉容器容量	7.5 L	
質 量	12.8kg	
電 源 コ ー ド	長さ：1.5 m	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付 属 品	マシン台	1 個
	果肉容器	1 個
	果肉排出チューブ	1 個
	ゴムバンド（果肉排出チューブ固定用）	1 本

各部の名称

●本機は、食材（野菜やくだもの）を果汁（ジュース）と果肉に分離する機械です。

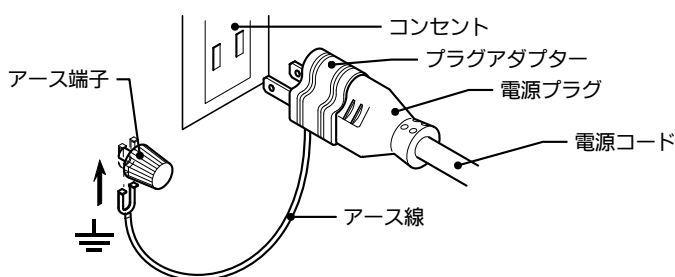


お願い

・水分量が少なく粘度の高い食材(例：バナナやアボカドなど)や葉物は処理しないでください。
故障の原因になります。

据付けについて

1. 水平で丈夫な調理台に、スイッチ部が正面にくるようにして据え付けてください。
調理台が傾斜していたり不安定ですと、転倒する恐れがあり危険です。
2. 電源を接続してください。
本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用してください。
3. 本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください。(電源コードの長さ：1.5 m)
4. 水がかからない、または流れてこないところに据え付けてください。
本体と電源コードに水がかかると、漏電、感電の原因になります。
5. 据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認してください。
モーターが高速回転したとき、本部の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。
6. アースは必ず取ってください。
アースは、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。
ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。アース線は、プラグアダプターより出ている緑色の線です。
7. 電源プラグの先に取り付けたプラグアダプターのアース線をアース端子に接続してください。
8. ご使用の際は、コンセントに電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください。



操作手順

【調理を始める前に、「お手入れ」の項目を参照して、フィルターバスケット、ボウルカバー、ガイド、ジュース収集ボウル、果肉容器（または果肉排出チューブ）をきれいに洗浄してください。】

1. 本体、ジュース収集ボウル、フィルターバスケットを取り付けてください。

- 1) マシン台の上に本体を載せてください。
- 2) ジュース収集ボウルにボウルフランジと注ぎ口を取り付けてください。
- 3) 本体にジュース収集ボウルを載せてください。本体の溝とジュース収集ボウルのノズルが合うようにして載せてください。

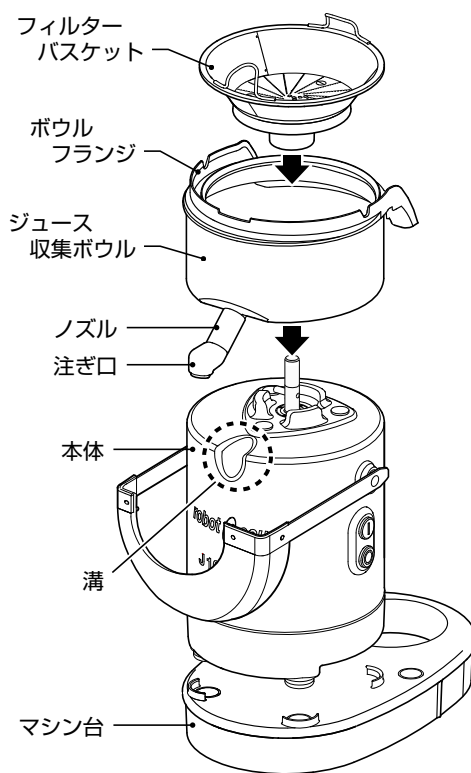
警告



接触禁止

・フィルターバスケットの刃の部分には
直接触れないでください。
ケガの原因になります。

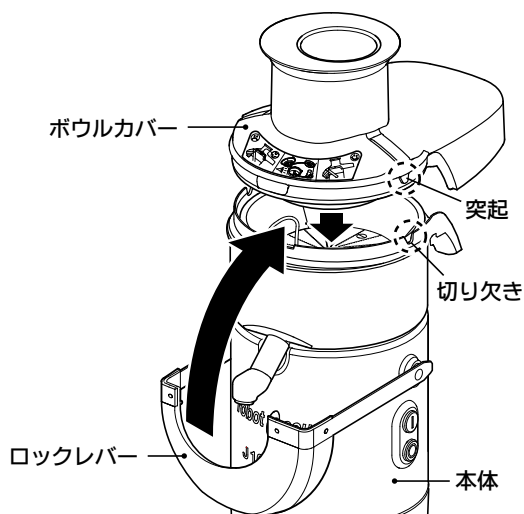
- 4) フィルターバスケットをモーター軸に差し込み、左右いずれかに回して載せ、“コトン”と落ち込む位置まで下げてください。フィルターバスケットが正しく取り付けられていないとボウルカバーがセットできません。



2. ボウルカバーを取り付け、ロックレバーをセットしてください。

- 1) ボウルカバーの突起とボウルフランジの切り欠きが合うように取り付けてください。

ロックレバーが正しくセットされると、安全装置が解除されます。安全装置がはたらいっている状態では、連続調理スイッチ「○」（緑色）を入れても本機は、動作しません。

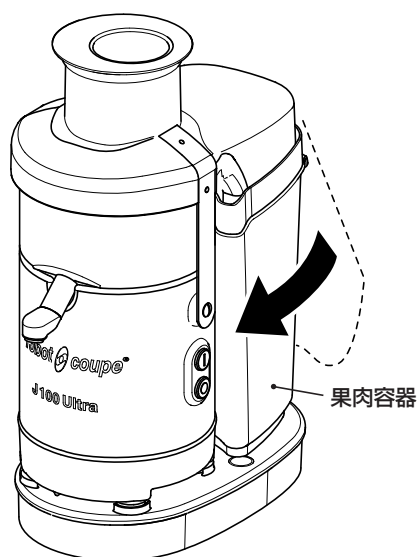


3. 果肉容器をセットしてください。

⚠注意

! 果肉容器セット

- ・果肉容器を正しくセットしてください。果肉容器が正しくセットされていないと、こぼれた果肉で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。また、周囲を汚す原因になります。



4. 果汁（ジュース）を入れる容器をセットしてください。

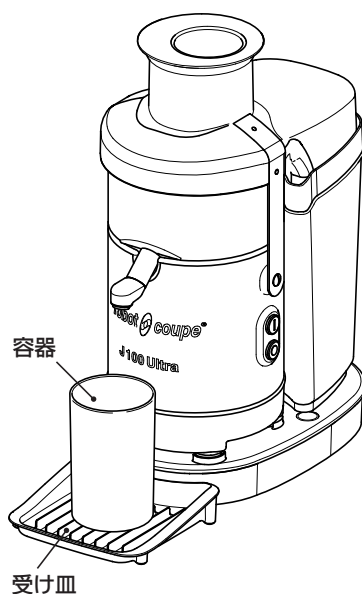
1) 注ぎ口の下に受け皿をおいてください。

⚠注意

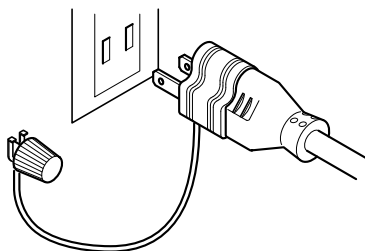
! 受け皿セット

- ・本機をお使いになるときは、受け皿をセットしてください。受け皿をセットしていないと、こぼれたジュースで電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。また、周囲を汚す原因になります。

2) 受け皿のうえに果汁（ジュース）を入れる容器をおいてください。



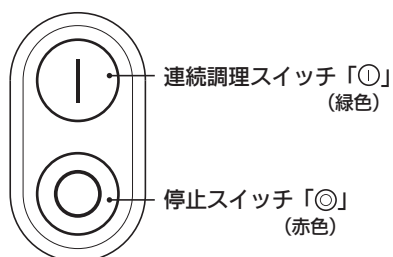
5. コンセントに電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください。



6. 連続調理スイッチ「①」(緑色)を押して本機を運転してください。

お願い

- ・処理をするときは、必ず連続調理スイッチ「①」(緑色)を押してから、食材を投入してください。先に食材を入れてから、連続調理スイッチ「①」(緑色)を入れると、モーターに負荷がかかり故障の原因になります。



警告



濡手禁止

- ・濡れた手で連続調理スイッチ「①」(緑色)や停止スイッチ「②」(赤色)を操作しないでください。感電の原因になります。

7. 投入口から食材を投入してください。

お願い

- ・水分量が少なく粘度の高い食材(例：バナナやアボカドなど)や葉物は処理しないでください。故障の原因になります。

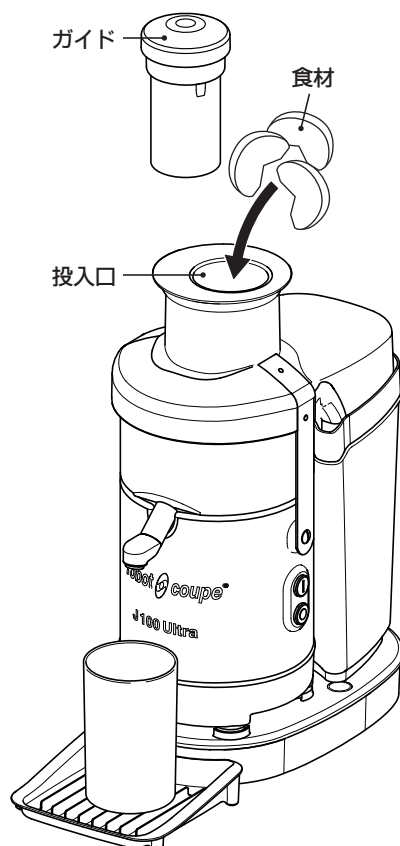
食材が投入口から飛び出すのを防止したり、投入口内で食材が引っかかったときに落とし込む場合には、ガイドを使ってください。

警告



禁止

- ・食材の落とし込みは手でおこなわないでください。
ケガをする恐れがあります。



お願い

- ・本機には、モーター保護装置が内蔵されています。堅い食材などを処理して、モーターに無理がかかった場合、自動的に機械が止まります。

この場合は停止スイッチ「◎」(赤色)を押した後、止まる原因になった食材を取り除いてください。

約5分待ってから、機械の底面にあるリセットスイッチを押し、連続調理スイッチ「○」(緑色)を押してください。

- ・ガイドは、使用の際、強く押さえずに手をそえる程度にしてください。ガイドを強く押さえるとモーターに負荷がかかり、機械が止まる原因になります。



8. 処理が終われば、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止めてください。

⚠️注意



停止確認

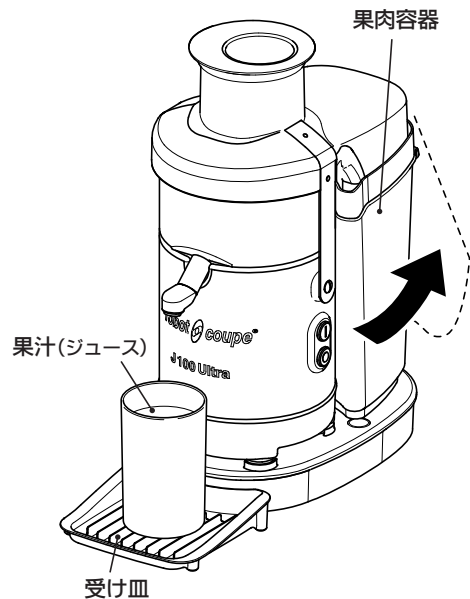
- ・停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止めた後、モーターの回転が完全に停止してから(10秒以上)、果汁(ジュース)の容器や果肉容器を本体から取り外してください。モーターの回転中に果汁(ジュース)の容器や果肉容器を取り外すと、果肉、果汁(ジュース)が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた果汁(ジュース)で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

9. 果汁(ジュース)の入った容器を取ってください。

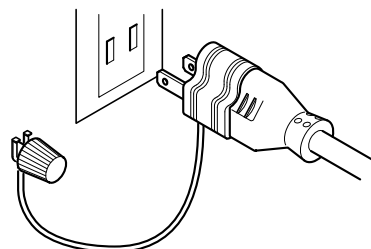
10. 果肉容器を取り外してください。

お願い

- ・果肉容器の容量は7.5Lです。容量を超えないように、果肉を取り出してください。
- ・果肉容器を取り外す場合は、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止めた後、モーターの回転が完全に停止してから取り外してください。



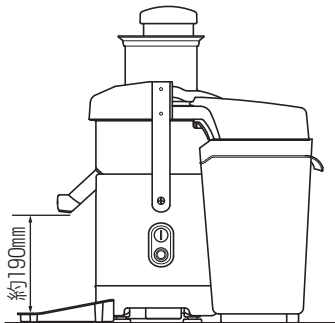
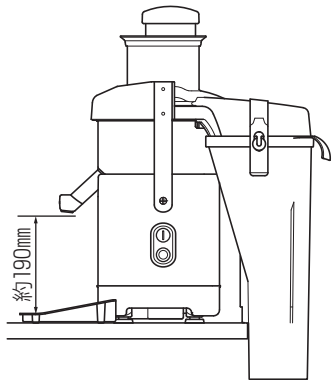
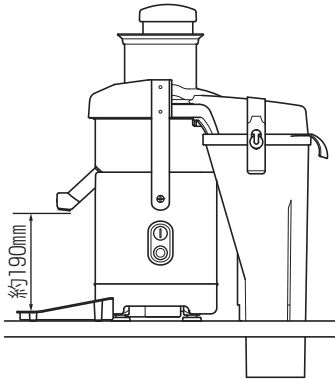
11. コンセントから、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください。

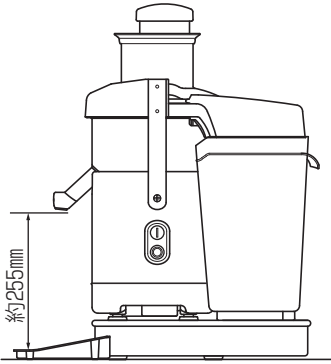
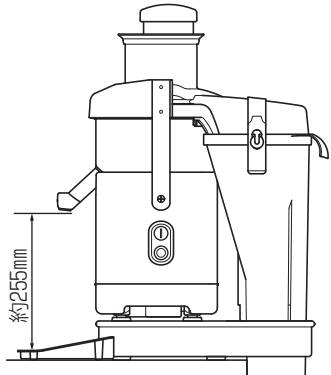
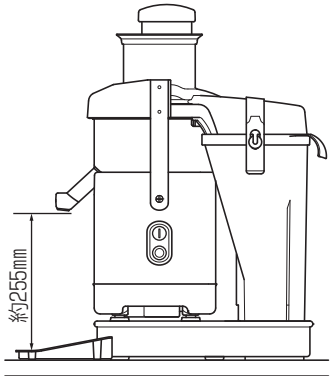


【本機は、使用する条件に合わせて部品を組み合わせることにより、便利に使い分けいただくことができます。】

お願い

- ・ 果肉排出チューブをご使用になる場合は、ゴムバンドで固定してください。処理中、機械の振動により果肉排出チューブが外れることがあります。

使用条件	組合せ	イメージ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 果汁（ジュース）を受ける容器の高さが 160mm 未満のものを使用する場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体 ・ 果肉容器 ・ 受け皿 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 果汁（ジュース）を受ける容器の高さが 160mm 未満のものを使用する場合 ・ 連続で大量の食材を処理する場合 ・ 台またはカウンターの下に果肉を受ける容器をセットして、果肉を受ける場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体 ・ 果肉排出チューブ ・ 受け皿 ・ ゴムバンド 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 果汁（ジュース）を受ける容器の高さが 160mm 未満のものを使用する場合 ・ 連続で大量の食材を処理する場合 ・ 台またはカウンターの天板に穴（φ 100mm）を開けて、中に果肉を受ける容器をセットして、果肉を受ける場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体 ・ 果肉排出チューブ ・ 受け皿 ・ ゴムバンド 	

使用条件	組合せ	イメージ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 果汁（ジュース）を受ける容器の高さが 160 ～ 230mm のものを使用する場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体 ・ マシン台 ・ 果肉容器 ・ 受け皿 	 <p>A line drawing of the juicer machine on a base. To the right of the machine is a separate, tall, rectangular container for juice. A vertical dimension line on the left indicates a height of approximately 255mm from the base to the top of the machine's housing.</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 果汁（ジュース）を受ける容器の高さが 160 ～ 230mm のものを使用する場合 ・ 連続で大量の食材を処理する場合 ・ 台またはカウンターの下に果肉を受ける容器をセットして、果肉を受ける場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体 ・ マシン台 ・ 果肉排出チューブ ・ 受け皿 ・ ゴムバンド 	 <p>A line drawing of the juicer machine on a base. A collection tube is attached to the side of the machine, leading down to a collection container. A rubber band is shown securing the tube to the machine. A vertical dimension line on the left indicates a height of approximately 255mm from the base to the top of the machine's housing.</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 果汁（ジュース）を受ける容器の高さが 160 ～ 230mm のものを使用する場合 ・ 連続で大量の食材を処理する場合 ・ 台またはカウンターの天板に穴（φ 100mm）を開けて、中に容器をセットして果肉を受ける場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体 ・ マシン台 ・ 果肉排出チューブ ・ 受け皿 ・ ゴムバンド 	 <p>A line drawing of the juicer machine on a base, showing the same setup as the middle row with a collection tube and rubber band. A vertical dimension line on the left indicates a height of approximately 255mm from the base to the top of the machine's housing.</p>

お願い

1. 本機は、食材（野菜やくだもの）を果肉と、果汁（ジュース）に分離する機械です。
他の用途には使用しないでください。
2. 処理する食材は、基本的に包丁で切ることができる堅さのものをご使用ください。
3. ご使用の前には、食材に接する部分をきれいに洗淨してください。
4. フィルターバスケットの刃は非常に鋭利ですから、取り扱いには十分注意してください。
5. ボウルカバーが正しくセットされ、ロックレバーがしっかりセットされていることを確認してから連続調理スイッチ「○」（緑色）を入れてください。
正しくセットされていないとスイッチが入りません。
6. 必ず連続調理スイッチ「○」（緑色）を入れてから、食材を投入してください。
7. 運転中は、危険ですから投入口より指、箸、スプーンなどを入れないでください。
8. ボウルカバーを開ける際は、機械が完全に止まっていることを確認してから開けてください。
9. 食材は入れ過ぎないようにしてください。
また、水分量が少なく粘度の高い食材は処理しないでください。
モーターに過負荷がかかり、内蔵のモーター保護装置がはたらいて機械が停止します。

モーター保護装置がはたらいたときは

- 1) 停止スイッチ「◎」（赤色）を押して機械を止め、電源プラグを抜いてください。
 - 2) モーターへの過負荷の原因を取り除いてください。
 - a. 食材の量を少なくしてください。
 - b. 食材をガイドを使って強い力で押し込んでいる場合は、軽く手をそえる程度にしてください。
 - 3) 約5分待ってから、機械の底面にあるリセットスイッチを押して、連続調理スイッチ「○」（緑色）を押してください。
10. 調理中および調理完了後に機械の運転を止めるときは、必ず停止スイッチ「◎」（赤色）を押して止めてください。
運転中にロックレバーを解除して運転を止める使いかたをしますと、本体内蔵のスイッチASSYとモーターを損傷する原因になります。
11. ボウルカバーとフィルターバスケット、ジュース収集ボウル、ガイドの樹脂部分は、高温洗淨すると変形したり、変色する恐れがあります。食器洗淨機などは、使用せずに80℃以下のお湯で洗淨してください。
12. 分解・組立てのときや、使用後は必ず停止スイッチ「◎」（赤色）を押して止め、電源プラグを抜いてください。感電したりケガの原因になります。
この際、コードを引っ張ると断線の原因になりますので、電源プラグを持ってコンセントに接続されているプラグアダプターから抜いてください。

お手入れ

【いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、下記の手順に従って、必ず「基本的手入れ」をおこなってください。】

⚠注意



プラグを抜く

- ・お手入れのときは、停止スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜いてください。誤って操作スイッチに触れた場合、ケガをしたり、ショートや感電の恐れがあります。

- 初めて機械を使用する場合。
- 食材の処理後は速やかに毎回。

「基本的手入れ」の流れ

- I. 予備洗浄（各部品を取り外し、水または温水を使って食材を洗い流す。）
- ↓
- II. 除菌洗浄（除菌洗浄剤を使用して洗浄する。）
- ↓
- III. すすぎ洗浄（流水を使って十分すすぎ洗いをし、洗剤成分を完全に洗い流す。）
- ↓
- IV. 乾燥（すすぎ洗い後、水分を拭き取り、各部を空気乾燥させる。）
- ↓
- V. アルコール除菌（アルコール除菌剤をスプレーし、機械各部を除菌消毒する。）
- ↓
- VI. 本体の清掃（本体外装およびモーター軸を清掃する。）

「基本的手入れ」は

- 高品質の食品を作る前提条件です。
- 雑菌の発生を予防します。

洗浄を怠ったり、不行き届きですと、食材や果汁（ジュース）がモーター軸のシール部に溜まって固着し、回転不良になったり機械の寿命が著しく短くなります。頻繁に洗浄することにより、機械を長持ちさせることができます。機械を衛生的に使用することができます。

お願い

- ・本機を洗浄するときは、食器洗浄機は、ご使用にならないでください。機械の故障の原因になります。
- ・洗浄後、保管される場合は、各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。
- ・次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水は、部品の劣化、および変色の原因になりますので使用しないでください。

⚠警告



接触禁止

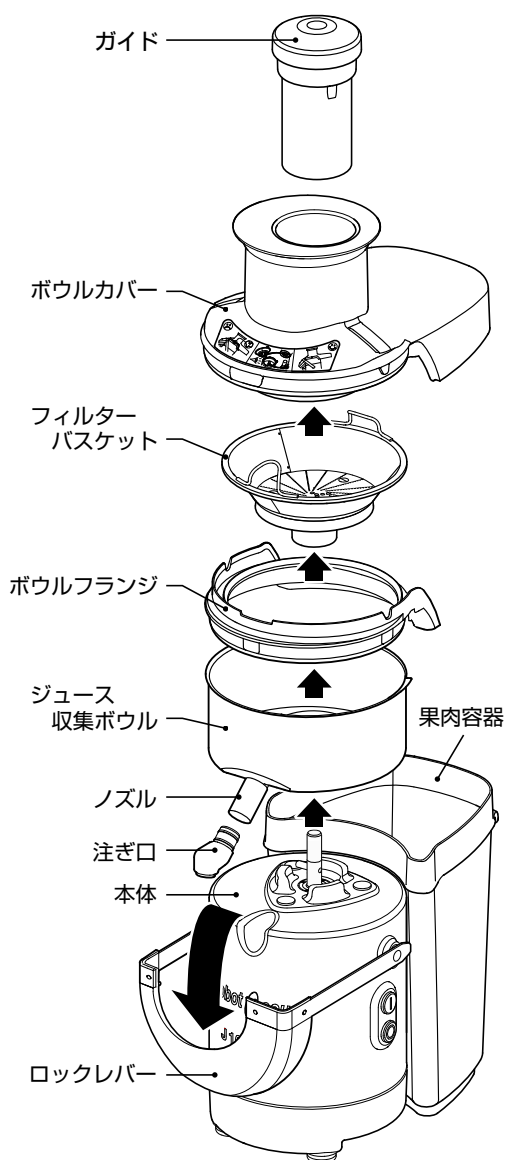
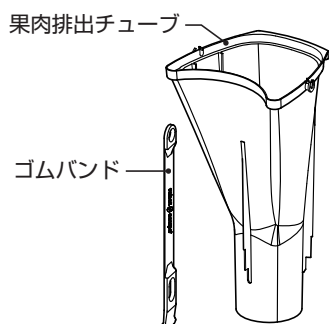
- ・フィルターバスケットの刃は非常に鋭利で危険ですので、洗浄の際は取り扱いに注意してください。ケガをする恐れがあります。

「基本のお手入れ」

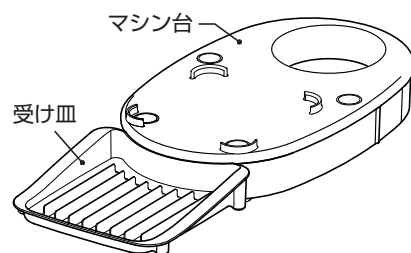
I. 予備洗浄

1. ロックレバーを解除し、本体よりガイド、ボウルカバー、ジュース収集ボウル、フィルターバスケットを取り外してください。
2. ジュース収集ボウルからボウルフランジと注ぎ口を取り外してください。
3. 水または温水を流しながら、ガイド、ボウルカバー、ジュース収集ボウル、フィルターバスケット、果肉容器をすすぎ洗いで食材や果汁（ジュース）を流し取ってください。

果肉排出チューブやゴムバンドをお使いいただいた場合は、同様に水または温水を流しながら、すすぎ洗いで食材や果汁（ジュース）を流し取ってください。



4. マシン台、受け皿も同様に水または温水を流しながら、すすぎ洗いで食材や果汁（ジュース）を流し取ってください。



Ⅱ．除菌洗浄

⚠注意



除菌洗浄

- ・フィルターバスケット、ジュース収集ボウル、ボウルカバー、ガイド、果肉容器、果肉排出チューブ、ゴムバンド、マシン台、受け皿は、洗浄剤を使って洗浄をおこなってください。洗浄が不行き届きの場合、付着した食材や果汁(ジュース)が腐敗したり雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。

1. シンクなどにぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗浄剤を入れて溶かしてください。
2. ガイド、ボウルカバー、ジュース収集ボウル、フィルターバスケット、果肉容器、果肉排出チューブ、ゴムバンド、マシン台、受け皿を除菌洗浄剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジを使ってきれいに洗ってください。

⚠警告



接触禁止

- ・フィルターバスケットの刃に直接触れないようにしてください。ケガをする恐れがあります。

お願い

- ・硬いタワシなどでこすると傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

Ⅲ．すすぎ洗浄

除菌洗浄剤を使用して洗った各部品は、流水で十分すすぎ洗いをして、洗剤成分を完全に洗い流してください。

Ⅳ．乾燥

すすぎ洗いした各部品は、速やかに除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分空気乾燥させてください。

⚠警告



接触禁止

- ・フィルターバスケットの刃に直接触れないようにしてください。ケガをする恐れがあります。

お願い

- ・洗浄後、速やかに清潔な布で水気を拭き取り、完全に空気乾燥させてください。水分がついたまま放置しますと金属部分が錆びる可能性があります。

V. アルコール除菌

乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。

VI. 本体の清掃

警告



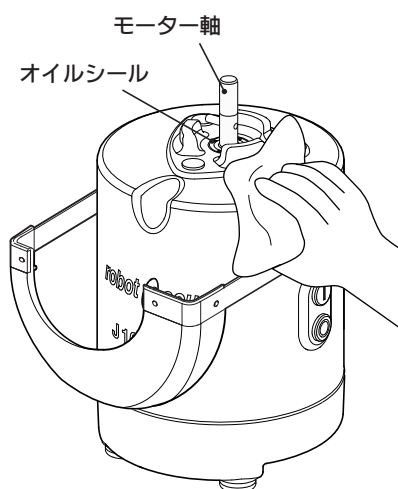
水掛け禁止

・本体に直接水をかけないでください。ショート、感電、錆、故障の原因になります。

1. モーター軸部および本体外装部は、除菌洗剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、汚れをきれいに拭き取ってください。

お願い

- ・モーター軸部には、オイルシールが付いていますので、傷を付けないように注意してください。オイルシールを損傷しますと、ボウルから食材や果汁（ジュース）が漏れた場合、モーター軸内部へ流れ込み、故障の原因になります。



2. すすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取ってください。
3. その後、空気乾燥させてください。
4. 乾燥後、雑菌の発生を予防するため、除菌剤をスプレーして除菌作業をおこなってください。

お願い

1. ガイド、ボウルカバー、フィルターバスケット、ジュース収集ボウルは、食器洗浄機など高温洗浄すると変形したり、変色する恐れがあります。
食器洗浄機などは、使用せずに80℃以下のお湯で洗浄してください。
2. フィルターバスケット、ジュース収集ボウルは、洗浄後、水分がついたまま放置しますと錆びる可能性がありますので、速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。
また、洗浄の際、洗浄液や水やお湯に10分以上漬け置きしないでください。
3. 清掃をするとき、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。
傷がついたり、破損の原因になります。
4. 除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性の除菌洗浄剤を使用し、入れすぎないようにしてください。濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。
5. 気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。
6. やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水などを使用して洗浄をおこなう場合は、錆および腐食の原因になりますので、できるだけ速やかに洗浄をおこない、十分なすすぎ洗いの後、速やかに水気を拭き取って完全に空気乾燥させてください。
7. 除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用濃度および、使用上の注意事項に従ってください。
8. 本機を使わないときは、乾燥した場所に保管してください。

【参考】

- ・ 本機のお手入れには、下記のものをご使用ください。

除菌洗浄剤……………無泡性で、厨房設備および調理器具用のもの。

※ 上記のものは、弊社（エフ・エム・アイ）でも取り扱っていますので、入手が困難な場合は弊社にご注文ください。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の停止スイッチ「◎」（赤色）を押して機械を止め、電源プラグも抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

※ご連絡の場合は、本機の型式名、機番お買上げ日、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状 態	診 断	手 当
連続調理スイッチ「○」（緑色）を押しても動作しない。	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグが抜けている場合は、コンセントに接続されているプラグアダプターに、電源プラグを差し込んでください。
	ボウルカバー、ロックレバーは、正しくセットされていますか？	ボウルカバー、ロックレバーを正しくセットしてください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	モーター保護装置が動作している可能性があります。	停止スイッチを押して、機械を止めてください。 止まる原因になった食材を取り除いて、機械の底面にあるリセットスイッチを押して1～2分待ってから、再スタートしてください。
	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF（切）」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF（切）」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。レバーが「OFF（切）」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。
本体から異常音が発生する。	丈夫な所に設置していますか？	丈夫な場所に設置してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	ジュース収集ボウル、フィルターバスケット、ボウルカバー、果肉容器が正しくセットされていますか？	ジュース収集ボウル、フィルターバスケット、ボウルカバー、果肉容器を正しくセットしてください。
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	モーター不良	お買上げ店へ連絡してください。
	モーター軸受け不良	
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。

状 態	診 断	手 当
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	－	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	－	お買上げ店へ連絡してください。

× 毛

エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

●保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

●保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店へご連絡ください。弊社にて「**無料修理**」いたします。
- 保証期間内でも次の場合には「**有料修理**」となります。
 - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 消耗部品（フィルターバスケット、ゴムバンド、パッキン類、オイルシール）は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

●修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社では、本製品の修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後8年とさせていただきます。修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品 名		ロボクープ ジューサー		
型 式		J-100	製造番号	
お 客 様	ご 芳 名	様		
	ご 住 所	〒 TEL. ()		
お 買 上 げ 店	店名・住所			
お買上げ日	年	月	日	無料修理保証期間 お買上げ日より1年間

株式会社 エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>